

# 新都庁舎の建築から開庁へ

## —東京都新都庁舎設計競技 審査—

昭和60年(1985)11月8日から始まった審査は、応募図書等調査を経て、翌年3月3日から本格的に執り行われます。

東京都新都庁舎設計競技審査会は、審査にあたり、設計者の匿名性を確保するため全ての応募図書に英字記号を無作為に付ける、非公開にするなど公平性を意識して行われました。

そして審査の結果、丹下健三・都市・建築設計研究所の設計案を採用案として、昭和61年4月7日に知事へ報告しました。

### 審議経過

会議	年月日	審議事項
第1回	昭和60年10月28日	会長互選、会長代理指名(会長:安達健二氏 会長代理:伊藤鄭爾氏) 指名設計競技要項、競技参加者の審議
第2回	昭和60年11月7日	指名設計競技要項、競技参加者の審議
第3回	昭和60年11月8日	指名設計競技要項、競技参加者の審議
第4回	昭和60年11月27日	競技参加者から質疑・回答の審議
第5回	昭和61年1月20日	周辺模型の説明、建設予定地視察
第6回	昭和61年2月24日	審査方針、欧米のシティ・ホールの検討
—	昭和61年2月25日	応募図書の提出
第7回	昭和61年3月3日	応募案の説明
—	昭和61年3月4日～3月8日	個別審査
第8回	昭和61年3月10日	審査
第9回	昭和61年3月10日～3月17日	個別審査
第10回	昭和61年3月24日	審査
第11回	昭和61年3月27日	審査
第12回	昭和61年3月31日	審査
第13回	昭和61年4月5日	審査
第14回	昭和61年4月7日	決定、報告